



# ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 268

2019年

5～6月号

## 行 事 案 内

### Enjoy 手賀沼！

#### 第30回バードウィーク手賀沼探鳥会 (5月手賀沼探鳥会)

バードウィーク(5/10～5/16)に合わせて実施されるイベント Enjoy 手賀沼！の一環として探鳥会を行います。我孫子市鳥の博物館と当会が共催し、山階鳥類研究所が後援します。探鳥会には50名前後の市民の参加が見込まれ、当会は探鳥のガイドや認めた鳥の説明等を行います。

会員多数のお手伝いをぜひお願いします。

期 日 5月12日(日)  
集 合 手賀沼親水広場 午前8時30分  
担 当 全幹事(事務局:桑森亮他)  
案 内 手賀沼遊歩道を次の2コースに分けて歩きます。

1時間コース(9:15～10:30)

2時間コース(9:15～11:30)

どちらかを選んで頂きます。

探鳥後の鳥合わせは班ごとに鳥の博物館で行います。

※5月の定例手賀沼探鳥会は、このバードウィーク探鳥会に代えます。

※雨天の場合は鳥の博物館見学会(入場無料)を実施します。受付9:30から、見学会10:00～11:00

※雨天の判断は7時30分以降「鳥博」

Tel: 04-7185-2212 まで。

### 6月手賀沼探鳥会

期 日 6月9日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 手賀沼は夏鳥の季節です。  
この頃の楽しみは子育てを見られることです。  
コブハクチョウ、オオバン、カイツブリ、キジ、カルガモの雛が観察されたことがあります。  
木の葉も茂り、姿を探しにくい季節は、さえずりを楽しむのも一興かも知れません。  
お友達との参加も大歓迎です。  
久しぶりの方もご遠慮なく。  
みんなで可愛い鳥を楽しみましょう。

解 散 正午  
担 当 坂元、佐和橋

### 5月、6月手賀沼定点カウント

期 日 5月7日(火) 雨天延期  
6月4日(火) 雨天延期  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
解 散 正午予定  
担 当 金子雅幸、船津登、桑森亮  
連絡先 桑森亮

Tel: 04-7182-3149

---

---

## 5月、6月ビオトープ調査

---

---

期 日 5月9日(木) 雨天延期  
6月6日(木) 雨天延期  
集 合 手賀沼ビオトープ 午前9時30分  
案 内 5~6月は冬鳥が去り、夏鳥のオオヨシキリ、ツバメが見られるようになります。ビオトープ周辺ではウグイス、キジ、コジュケイ、ホトトギスの鳴き声が聞こえます。2018年5月は15種、6月は14種の野鳥を観察しました。ツツジ、コデマリ、アジサイ、シモツケ、タイサンボク等の木の花が、シロツメクサ、ハルジョオン、ヒメジョオン、ニワゼキショウ等の野草の花も咲きます。花・葉を求めて蝶、蜂、ゾウムシ、コガネムシ等も見られ、カエルの声も聞こえます。春~初夏の季節感の中で探鳥し、周りの景色を観察してみましよう。初めて参加希望の方は下記まで連絡頂き、当日は五本松公園の駐車場に9時15分までにお越しください。

解 散 午前11時30分  
担 当 鈴木静治  
Tel : 080-3121-4757

---

---

## 印旛沼・笹川探鳥会

---

---

期 日 6月16日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子駅北口 午前8時  
案 内 印旛沼ではオオヨシキリの鳴き声、日本のサギでは最小(全長36cm、体重100g)のヨシゴイが飛び交う中、サンカノゴイ(滋賀・茨城・千葉県の葦原・水田で局地的に繁殖する絶滅危惧種)を探し、餌獲り、飛ぶ姿、鳴き声等を観察しましょう。笹川では河川敷の葦のまばらに生えるスゲ類やイネ科植物の草原に繁殖し、さえざり飛翔を繰り返すオオセッカ(絶滅危惧種、青森・秋

田・千葉県で繁殖、千葉県で越冬)を観察してみましよう。

また本州には少ないコヨシキリ(北海道に多い)、夏羽で頭の黒いコジュリン(絶滅危惧種、本州と九州で局地的に繁殖)、セッカ等も観察してみましよう。

交 通 自家用車分乗。同乗者は運転手に一人1,500円をお渡しください。自家用車を提供可能な方は参加申し込み時にお知らせください。

持ち物 観察用具・雨具・昼食・飲物(途中購入可)  
探鳥地は日よけがありませんので暑さ対策をお願いします。

申 込 鈴木静治まで  
Tel : 080-3121-4757

担 当 桑森、鈴木(静)

---

---

## 柏市民活動フェスタ2019

---

---

「我孫子野鳥を守る会」には柏支部があり、柏市の登録市民団体となっています。今年も5月第2日曜日に「柏市民活動フェスタ」が柏駅周辺各所で開催され、当会も活動内容の紹介および会員募集活動の一環として下記の通り参加します。つきましては、半日・数時間でもかまいませんので、会員の皆様にスタッフとしてのご協力をお願いします。なお当日午前にはEnjoy手賀沼バードウィーク探鳥会と重なりますのでご注意ください。

開催日時 5月12日(日) 10:00-16:00  
(荒天中止)

出展場所 柏駅前通りハウディモール  
歩行者天国(イトーヨーカドー前)

展示内容 会の活動を紹介するパネル等

担 当 千葉 洋  
Tel : 090-2434-4937

## 新入会員オリエンテーション

今年度も“新入会員オリエンテーション”を下記の様に開催いたします。

当会の歴史・活動の詳細、探鳥の楽しみ方など、当会の全てを丸ごと知って頂ける良い機会です。

昨年度より入会された新入会員の皆様が対象ですが、長年の会員の方の参加も歓迎します。特に、近年に入会され、新入会員オリエンテーションに参加いただけなかった会員の皆様には、良い機会と思います。奮ってご参加ください。参加希望者は、下記申し込み先へ、期限までに申し込みください。

記

開催日時 6月22日(土) 13:30~16:30

会場 水の館 3階研修室

(開会15分前より野鳥動画/スライド・ショー放映)

開会

1: 歓迎の挨拶

当会運営体制(組織,役員,事務局)紹介

2: 当会の紹介

① 当会の他では得られない特徴/楽しみ

② 当会の名人たち

③ 当会の年間活動

④ これまでの探鳥地と出会った鳥たち

⑤ こんな時のコンタクト先

3: 先達に聴く 探鳥の楽しみとヒント

① 探鳥の仕方

② 探鳥の楽しみ方

③ 手賀沼周辺で確認された珍しい鳥

4: 今後の活動予定と参加の案内

5: 質疑応答&懇談

閉会

申込み先: 野口紀子まで

TEL: 04-7182-7232 (お電話での連絡は14:00以降にお願いします)

E-mail:

ab-yacho-office@abikoyacho.sakura.ne.jp

期限 6月8日(土)

その他 参加者には、当会の活動をあまねく紹介する当会特製DVDを進呈いたします。

担当 相良直己、野口紀子

### 5月役員会案内

日時 5月12日(日) 13:30~16:00

場所 我孫子北近隣センター(並木本館) 会議室3

議題

① 幹事の補充選任

② 2019年度役員の仕事別分担

③ 2019年度下期行事計画

④ 会報269号掲載予定記事

⑤ 報告事項

・ 対外対応状況 他

⑥ その他(議題のある場合は桑森までご連絡下さい)

## 行事報告

### 2月手賀沼探鳥会

日時 2019.2.10(日) 9:00~12:00

晴れ 弱風 4℃

前日は一日雪で下見もできなかったが、当

日は快晴で鳥見日和となった。残雪と路面凍結で参加者の集り具合が心配されたが、21名の皆さんが集まってくれた。スタート前から市役所前でシジュウカラやメジロが姿を見せ、ヤマガラスの囀りも聞こえ、期待が高まった。

上沼ではミサゴが 3 羽追うように飛び、水面にはカモたち、木立にはカシラダカと、上々の出足で、ヒドリ橋でもオカヨシガモの群れが休んでいた。

下沼では、ハス群生地に立ち寄り、マガモ、ホシハジロに加え、最近居ついているコハクチョウにツルシギが観察できた。最後の観察場所では期待したカモ類は全くいなかったが、ミコアイサとカンムリカイツブリがかなり観察できた。

シジュウカラやヤマガラスの囀りが聞かれ、鳥たちには春が来始めたようで、鳥合せの頃には雪も溶け、人にも春近しを感じさせた。

手賀沼ふれあい緑道沿いの水際は相変わらず枯ナガエツルノゲイトウが目立ち、焼かれた葦原や緑道下には雪の中でもゴミが目立った。手賀沼の環境悪化に歯止めをと思うが……。

<認めた鳥>コブハクチョウ、コハクチョウ、オカヨシガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、バン、オオバン、タシギ、ツルシギ、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、カワセミ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン 合計 45 種 番外 カワラバト

<参加者>嶋崎省、関口英治、相良直己、松田幸保、古出洋子、小林博之、小林美智子、百瀬喬、常盤孝義、野口紀子、徳重玲子、坂元孝行、坂元貴子、岩田孝之、西嶋昭生、千葉洋、岩本二郎、間野吉幸、木村稔、西城猛 (担当) 桑森亮 参加者 21 名

ロなど普段見られない鳥が見られた。又、下沼では 15 羽のタゲリが採餌する姿や、夏沼に移行中のクロハラアジサシの飛翔、葦原に隠れて見られなかったヒドリガモの群れが突然姿を現すという奇跡的なシーンもあり、その中には綺麗なヨシガモも見られた。トータル的にも、前年の 5 割増しの水鳥がカウント出来た。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	20	43	63
コハクチョウ	0	2	2
オオハクチョウ	0	2	2
オカヨシガモ	27	0	27
ヨシガモ	0	1	1
ヒドリガモ	0	213	213
マガモ	0	221	221
カルガモ	110	76	186
オナガガモ	0	2	2
コガモ	19	61	80
ホシハジロ	0	22	22
キンクロハジロ	3	0	3
カイツブリ	19	23	42
カンムリカイツブリ	24	19	43
ハシロカイツブリ	4	0	4
カワウ	15	30	45
アオサギ	28	0	28
ダイサギ	6	0	6
コサギ	2	0	2
クイ	1	0	1
バン	1	0	2
オオバン	68	64	132
タゲリ	0	15	15
タシギ	0	2	2
ユリカモメ	80	17	97
クロハラアジサシ	0	4	4
合計	427	817	1,244

<調査者>桑森亮、金子雅幸、船津登、坂元貴子 計 4 名

## 2 月手賀沼定点カウント

調査日時 2019.2.5 9:00~12:50  
曇り 6~8℃

初参加の坂元さんを歓迎してか、上沼の第一ポイントからオカヨシガモ、キンクロハジ

## 2 月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2019.2.7 9:30~11:50  
晴れ~曇り 無風~微風 4~10℃  
前日は雨、当日の朝は濃霧であったが次第

に晴れ、田、池、葦原、沼岸近くに多くの種類の野鳥が見られた。水田は二番穂の田と田起こしが半々で、田の端の草地でムクドリ、ホオジロ、ツグミが餌探し、スズメが飛び、上空をトビが飛ぶ。近くにいたハシボソガラスがモビングする。ビオトープの池ではカルガモ、コガモ、オオバン、バン、カイツブリが泳ぎ、池回りの葦の茂みでアオジ、ホオジロ、オオジュリンが動き、ウグイスが地鳴き。カワセミが池の水面上を飛び、アカハラ、キジバトも飛ぶ。アオサギも見られ、コサギが杭に、ダイサギが高木に止まる。森には大木にムクドリ、ツグミ、ヒヨドリ、シメ、ハシボソガラスが止まる。沼岸の木にスズメ、モズ、カワラヒワが止まり、葦の茂みでウグイスの地鳴き。岸近くをカルガモ、カイツブリ、オカヨシガモ、コブハクチョウが泳ぎ、カワウ、ユリカモメが飛ぶ。観察した野鳥 28 種 188 羽、他に小動物 1 種、木の花 1 種、蕾 3 種、実 4 種、野草の花 4 種、新芽・ロゼット 5 種、花穂・実 4 種を観察しました。

<認めた鳥>コブハクチョウ、オカヨシガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、バン、オオバン、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ユリカモメ、トビ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、アカハラ、ツグミ、スズメ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計 28 種

<調査者>鈴木静治、間野吉幸、船津登、古出洋子、千葉洋、坂元貴子 計 6 名

### 3月手賀沼探鳥会

日時 2019.3.10 9:00~12:00  
晴のち曇り 無風 14℃

集合段階で、小鳥類数種とチョウゲンボウが見られる幸先、よいスタートとなった。第2 機場からの遊歩道では、夏羽になってきたカムリカイツブリの求愛動作やミサゴのランデブーを楽しめた。ヒドリ橋からは焼けた葦原が見渡せ、次のハス群生地では、葉が朽ちて今でしか見られない水面をじっくり観察でき、立ち寄った甲斐があった。お立ち台では喉が黒くなってきたオオジュリンや

ホオアカも見ることができた。早めの北帰行で少なくなったカモ類もなんとか記録でき、あと 1 種で 50 に届く成績だった。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、ホシハジロ、スズガモ、カイツブリ、カムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、バン、オオバン、コチドリ、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、ホオアカ、アオジ、オオジュリン 計 49 種 番外カワラバト

<参加者>小池忠彦、肥後邦彦、渡邊俊文、坂元貴子、相馬唐代子、北崎正典、関口英治、高波宣子、野口紀子、西城猛、石渡成紀、相良直己、間野吉幸、野口隆也、野倉元雄、小林美智子、古出洋子、松本勝英、金子幸子、村瀬和則、川越久枝、徳重玲子、船津登、浅野利幸、菊池幸雄、菊池昌江、木村稔、岩本二郎、佐和橋みどり、石井俊子(担当) 松田幸保 参加者 31 名

### 3月手賀沼 定点カウント

調査日時 2019.3.05 9:00~12:30  
快晴 10~15℃

上沼ではほぼ前年同月数に近く、今年では前月並みのカモをカウント出来たが下沼でマガモ、カルガモが前年を 200 羽程下回る数字で結果として 1000 羽台に届かなかった。上沼で、対岸を群れ飛ぶ 30 羽前後のシギが見られたが、残念ながら遠すぎて判別出来なかった。今までも、手賀沼でシギの群れ飛ぶ姿を見たことが無かったが、果たして何であったのか？

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	13	24	37
オカヨシガモ	19	0	19
ヒドリガモ	0	204	204
マガモ	0	50	50

カルガモ	65	18	83
コガモ	194	44	238
ホシハジロ	2	13	15
カイツブリ	31	5	36
カンムリカイツブリ	21	31	52
ハジロカイツブリ	1	0	1
カワウ	72	34	106
ゴイサギ	0	2	2
アオサギ	9	3	12
ダイサギ	6	2	8
コサギ	4	0	4
バン	3	1	4
オオバン	39	53	92
ユリカモメ	11	7	18
セグロカモメ	1	3	4
合計	491	494	985

<調査者> 桑森亮、船津登、金子雅幸 計 3 名

### 3月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2019.3.14 9:30~11:20  
快晴 弱風→強風 8~11℃

北西の強い風が吹き、沼に白波が立つ。遠く白い富士山が見え、ひんやりする日であった。野草の新芽・若葉も出始め、花も咲き始めた。ツクシも見られた。冬鳥も見られる中、ツバメの飛翔、カワウの大群の追い込み漁も見られた。ビオトープの池ではカルガモの群れ、コガモ、オオバン、バンが泳ぎ、ダイサギが餌探し。池回りの葦原ではアオジ、ウグイス、オオジュリンが地鳴き、ホオジロが動く。アオサギ、カワセミ、コサギ、ツグミ、ツバメ、トビ、キジ、ハシボソガラスが低空を飛ぶ。沼では葦原にオオジュリン、モズが動き、水辺をオオバン、カルガモ、カイツブリが泳ぎ、カワウの大群が追い込み漁をする。上空をユリカモメ、セグロカモメが飛ぶ。カワラヒワが鳴き、コブハクチョウが道の青草を啄む。森の大木ではハシブトガラスが巢に入り、池の中島にコブハクチョウの巣造りの兆候が見られた。観察した野鳥は 24 種 587 羽。他に小動物 1 種、木の花の蕾 6 種、新芽 1 種、実 3 種、草の花 9 種、新芽・若葉 7

種、花穂・実 3 種を観察しました。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、トビ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ツバメ、ウグイス、ツグミ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計 24 種

<調査者> 鈴木静治、間野吉幸、古出洋子 計 3 名

### 行徳・江戸川探鳥会

2月17日

#### ～行徳自然保護区探鳥会の楽しみ方～

弘實和昭

千葉県許可を得て行徳自然保護区に入るのは、こんな機会が無いとなかなか出来ないことです。今年は昨年より 2 週間ほど早め、昨年とは違った鳥と出会えるか、期待が膨らみます。天候がもう一つでしたが、21 名の参加で楽しい探鳥会になったと思います。

今年の案内も、NPO 法人行徳野鳥観察舎友の会の野長瀬さん。丁寧な説明で、行徳自然保護区の成り立ちや必要性を説明してくれました。「鳥はかわいいですね」が動機で野鳥を見て楽しんでいるのとは、すこし違った鳥との付き合いを知ることも出来たと思います。これも貴重な体験。

初参加の小林建史朗さんは、「今年入会したもので何もわかりません。ご指導のほう宜しくお願いいたします。」と言いつつ、「今日は本当に楽しみにして来ました。冷たい強い風の中でしたが、最後までついていくことができ、達成感がありました。とても楽しかったです。76 才のわりには好奇心が旺盛です。次回を楽しみにしています!!」と感想を述べておられます。次回も一緒に楽しみましょう。

写真を撮ってくれました村松寿夫さんは、「寒風吹きすさぶ中、いささか長丁場の行程で最後は疲れましたが、これも良い経験でした。午前中晴れていればもう少し綺麗に鳥たちも撮れていたと思いますが、」と言いつつ、

大変綺麗な写真を送ってくれました。ホームページに掲載されていますので、是非ご覧になってください。

毎年企画してくれる相良さんには感謝、ご苦労様でした。

### 【幹事報告】

今年度も、これまでと同じルートで江戸川河口、行徳自然保護区の探鳥会が、21名の会員の参加で、開催されました。3年連続の開催となります。

江戸川河口では、数百羽のスズガモとホシハジロの群れは今年も圧巻です。今回のハイライトは干潟での4羽のチドリ。会員の中で、ムナグロかダイゼンかで大論争が起きました。上面体色は黄色味が強い黄褐色でありムナグロ、然しながら、河口の干潟で越冬するのは一般にはダイゼン、大きさは多少大きく見え、嘴も長く思えるが、それらは感じ方によるものであり判断は難しい。後日、会員の撮影した写真を集めて確認しました。識別ポイントは、「脇羽（ダイゼンは黒いがムナグロは淡褐色）、ダイゼンには短い後趾があるが、ムナグロにはない」の2点。写真で確認したところ脇羽は黒くなく、後趾はありません。ムナグロと決定しました。行徳野鳥観察舎のスタッフに確認したところ、「これまでも江戸川放水路付近では越冬ムナグロの小さな群れが確認されていましたが、東京外環自動車道の開通により、後背地にあった空き地等がなくなりムナグロの越冬個体群もあまり見られなくなった。しかし、今シーズンは5羽の群れが越冬している」とのことです。識別の難しい、冬羽のムナグロ、ダイゼンの同定の大変勉強となる探鳥会になりました。

昼食後、江戸川河口を後にし、バスで行徳自然保護区に向かい、行徳野鳥観察舎 野長瀬様にご案内いただき、保護区内を探鳥しました。現在、野鳥観察舎の建物の解体工事中であり、これまでと園内ルートはわずかに変わります。このため、去年は人気の的であったズグロカモメを見つけるのが今年は大変でした。例年2000羽もの賑わいをみせるカワウですが、今年は降雪の影響でカワウの営巣が難しくなり、営巣中のカワウの数は減っているとのことでした。

今年も、ウミアイサをはじめ多くのカモ類、

4種のカイツブリ、4種のタカなど49種もの鳥たちに出会うことができました。

今回もご協力いただきました行徳野鳥観察舎 野長瀬様に感謝申し上げます。

<認めた鳥>オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ウミアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ミミカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、オオバン、ムナグロ、イソシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、トビ、チュウヒ、ハイタカ、オオタカ、カワセミ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計49種 番外 カワラバト

<参加者>関口英治、野尻清敬、野尻恭子、島崎省、鈴木静治、百瀬喬、菊地幸雄、菊地昌江、マイケル・ノートン、渡辺政一、小林建吏朗、吉田隆行、井上正、鍋倉妙子、村松寿夫、多葉田五男、高波宣子、桑森 亮、岩本二郎（幹事）弘實和昭、相良直己 計21名

---

## 大室公園・嶺公園探鳥会

2月24日

---

### ～トラツグミ、ガビチョウ等を楽しむ～

森本宜久

7時半、我孫子を中型バスで出発し前橋市の公園に向かう。風もなく次第に春めく絶好の探鳥日和で、鳥たちへの期待も膨らむ。途中車窓から遠く雪をいただく男体山や浅間山を眺めながら、車は順調に走り10時大室公園に到着。

早速探鳥開始。入口でヤドリギの付いた巨木にヒレンジャクならぬカワラヒワを発見。惜しい！入口横の池にはカルガモ、コガモ、マガモ等がのんびり泳いでいた。大きな二子古墳を横目に広い公園を散策する。開放感十分だ。途中、鳥好きの二人組に会いヒレンジャクはまだだよと宣告され、皆少々がっかりする。それでもビンズイ、シジュウカラ、ツ

グミ、シメ、ヒヨドリ、ムクドリそして綺麗なジョウビタキの雌雄も観察でき上出来だ。とりわけ温かい日差しを浴びて輝くシジュウカラの背中緑の美しさに皆感激した。紅梅も混じる梅の花のもと早めの昼食をとり、嶺公園に向かうことに。

約 30 分で赤城山麓に広がる公園に到着。入ってすぐの池には観察小屋もあり、マガモやカルガモの近くにミコアイサの雌を発見。懸命に雄の姿を探すが見当たらずやや残念。芽吹き始めた水芭蕉をながめながら木道を進み、下見時にミヤマホオジロを観察した窪地に到着。その途端、一部の人が飛び立つ姿を確認したようだ。

餌付けをしているようで、大型のガビチョウやアオジ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ等が観察できたが、期待したミヤマホオジロは遂に現れず 30 分ほど待機したが断念することに。この間珍しいカオジロガビチョウを見た人もいてよかった。その後林を進みアカゲラなどを探す。この日は残念ながら見当たらなかったが、ベテランの方がツグミの傍らでトラツグミを発見。木株の上で振動を与え彩餌する姿がじっくり見られ感激。帰路の池でヨシガモも優美な姿で花をそえてくれた。

群馬の空っ風もなく、天候にも恵まれた中、二つの公園をのんびり散策しながら多くの鳥たちを観察できましたし、帰路の車中も大変楽しく本当に素晴らしい一日でした。レンジャクやアカゲラなどはまた次の機会に期待したいと思います。

2 度も下見して準備して頂いた幹事さん、そして色々教えて頂いた先輩の皆様心より感謝致します。本当に有り難うございました。

#### 【幹事報告】

天気は、晴で朝は少し肌寒いが、日中は穏やかで探鳥日和になりました。気温 13℃。7 時半に我孫子を中型バスで出発、途中東北道の羽生 P A で休憩し、予定より早く 10 時に、前橋市の大室公園に着きました。公園には、ヤドリギの付いた木が多くあり、実もたくさん付いていましたが、レンジャク類の姿は、見られませんでした。古墳のある公園内を探鳥し、紅梅、白梅が咲く梅園で、花を見ながら昼食をとりました。公園では、ビンズイ、シメ、ジョウビタキなどが観察されました。バスに乗り込んでいる時に上空を飛ぶハ

イタカが見られました。公園を 11 時 40 分ごろに出て、30 分程で赤城山山麓の嶺公園に着きました。まず池を観察、ミコアイサのメスが見られました。周りに水芭蕉の芽が出ている木道を通り、ミヤマホオジロの見られる窪地に行きましたが、多人数のため、先の人には、ミヤマホオジロを見ましたが、大部分の人には見られず、その場で鳥が戻るのを待ちました。カシラダカ、アオジ、ガビチョウなどは、出ましたが、ミヤマホオジロは出ませんでした。なお、ガビチョウの中に珍しいカオジロガビチョウがいたとのことです。見通しのよい落葉樹の林で、アカゲラを探すが、鳥の姿は見られず、先に行く人が、朽ちた切り株の上で、腰を振り振動により採餌するトラツグミを発見、ウグイスの囀りも聞こえました。その後、池に戻ると、マガモの近くでヨシガモが見られました。公園を 14 時 10 分に出て、バスの中で鳥合わせをし、渋滞もなく 17 時に我孫子に到着しました。

反省点として、参加者が多数の場合、斑に分けて行動することが必要と思われます。

<認めた鳥>ヨシガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、ミコアイサ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、オオバン、トビ、ハイトカ、コゲラ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、ムクドリ、トラツグミ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、ビンズイ、カワラヒワ、シメ、カシラダカ、ミヤマホオジロ、アオジ 計 35 種 番外 ガビチョウ、カオジロガビチョウ

<参加者>鈴木裕爾、鈴木幸子、神部充、古賀嗣朗、古賀道子、古出洋子、間野吉幸、野尻清敬、野尻恭子、森本宣久、吉田隆行、小玉文夫、金子雅幸、青木典子、鍋倉妙子、高波宣子、新堀正則、嶋崎省、渡邊俊文、津村勝吉、小林博之、小林美智子、大久保陸夫、千葉洋、相良直己、徳重玲子、(現地参加)阿保進、阿保国子(幹事)松本勝英、船津登計 30 名



## 銚子・波崎カモメ探鳥会

3月17日

### ～銚子・波崎カモメ探鳥会に参加して～

阿部修三

家族会員となって2年目になり探鳥会にも数回しか参加してこなかったのに、今回妻がぜひとも行きたいと言うので、銚子・波崎カモメ探鳥会に参加しました。参加にあたり車を提供することにしましたが、幹事の桑森さんが同乗して道案内をして下さったので助かりました。

銚子第二漁港に到着して対岸の防波堤に並んでいるたくさんのカモメを観察しました。幹事さんはしきりに下見した日より数が少ないと言っていました。初めて見るものにとっては十分な数でした。カモメとウミネコの区別も分からない中での観察でしたが、野尻さんが作成したカモメ8種の相違を整理した資料をもとに「足の色はピンクか黄色か、口ばしは背中の色は、やれ体の大きさは」とロクに興奮しながら互いに確認して行きました。聞くところによるとカモメは識別がとても難しく、カモメだけのハンドブックも数冊出ているほど奥が深いということでした。我々にとってはカモメの入門編でしたが、基本8種の内7種は確認できたかな？と思います。

場所を移動してクロガモ、アカエリカイツブリ、クロサギに加えめつたに見られないというウミスズメまでじっくり見ることができ合計49種、初心者である私にとってとても幸運な一日でした。

昼はレストランで温い食事もとれ市場でおみやげの買い物までできた今回の企画に妻からは「こんなぜいたくな探鳥会は珍しく、参加してよかったわね」と言われました。本当にそのとおりでした、有難うございました。

#### 【幹事報告】

我孫子駅発の車6台、計22名の参加者で、予定通り7時35分頃に出発、途中道の駅「発酵の里こうざき」でトイレ休憩し、一路銚子へ向かった。銚子漁港ではカモメがこれまでにないほど著しく少なく、第二漁港手前の定番の探鳥スポットでもカモメが50羽程度で、釣り人が来て一気に飛び去った。それでも何とかカモメ7種は確認できたが、次の千人

塚周辺の防波堤、水面、上空でもカモメは殆んどいなかった。カモも少なく、何種か確認しても、とにかく数が少ない。第三漁港でも同様で、カモメはどこにいったの？といった状況だった。そんな中、クロサギは少し遠かったが3羽確認でき、クロガモが相当数観察できた。

鳥が少ないため、探鳥を予定より早く切り上げ、11時40分頃には昼食予定場所の「ウオッセ21」に向かい、各自、弁当やレストランでのお魚料理を楽しんだ。今回は女性陣が多いことも考慮し、お魚ショッピングの時間を確保、お魚店巡りも楽しんだ。午後は波崎で防波堤のカモメウォッチングに再度挑戦し、漁港ではウミアイサ、アカエリカイツブリが比較的近くで観察でき、最後のスポットではウミスズメを何とか見つけることができた。往路の道中では常陸利根川の葭原や湿地でカモ類数種とトビ、チュウヒ、オオタカ、ノスリを観察できた。この地の葭原と農地は猛禽類が良く見られる。最後は波崎海水浴場管理施設で鳥合せを行い、15時20分に現地解散した。

カモメが少なくカモメ探鳥会とは名ばかりだった感はぬぐえないが、カモメ類の識別に挑戦し、手賀沼周辺では普段みられない海辺の鳥や夏羽になったカイツブリ類を楽しむとともに、お魚ショッピングも楽しむ和気藹々の探鳥会だった。

<認められた鳥>ヒドリガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、クロガモ、ホオジロガモ、ウミアイサ、カイツブリ、アカエリカイツブリ、カンムリカイツブリ、ミミカイツブリ、ハジロカイツブリ、カワウ、ウミウ、ヒメウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クロサギ、オオバン、ユリカモメ、ウミネコ、カモメ、シロカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、ウミスズメ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、オオタカ、ノスリ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ツグミ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ 計49種

<参加者>阿部修三、阿部真弓、金子幸子、坂元孝行、坂元貴子、相良直己、佐和橋みどり、嶋崎省、関口英治、芹澤正子、相馬唐代

子、高波宣子、新堀正則、野尻清敬、野尻恭子、船津登、マイケル・ノートン、間野吉幸、百瀬喬、渡邊俊文（幹事）松本勝英、桑森亮 計 22 名

### **第 31 回「野鳥サロン」実施報告**

第 31 回野鳥サロンを 2 月 10 日(日)午後 1 時 30 分から 3 時 15 分、水の館 3F 研修室において開催しました。

今回のテーマは、「鳥と地域の環境との“結びつきを”探る～イソヒヨドリの食性分析から～」というもので、発表者は当会会員の岩本二郎さん（当時は、我孫子市市民課勤務、現在鳥博学芸員）にお願いしました。

前半は、イソヒヨドリの名前の謂れから世界の分布域・生態・習性・生息環境など、イソヒヨドリとはどんな鳥かを分かり易く説明されました。日本での生息環境は、元々は岩礁海岸でしたが、近年内陸進出が進み、我孫子市でも 19 年前からイソヒヨドリが観察され最近では繁殖が確認されています。我孫子市では当会の記録などからイソヒヨドリの侵入時期が特定できるため、貴重な材料になっているとのことでした。

内陸進出の要因については、私たちの社会・生活の変化を振り返り、時代の変化に伴い内陸市街地の人工物利用が進んだと考察されています。また、イソヒヨドリは雌雄が外見から容易に識別できるため、雌雄の繁殖行動が定着にどう関係しているのかを調べることができ、今後、進出の際に雌雄の果たす役割がより明らかになると期待されます。

後半では、我孫子市の市街地で繁殖するイソヒヨドリが雛に与えた餌の 2 年間の記録について、食性分析の結果から考察されることを話されました。

イソヒヨドリは雑食性で様々な餌を雛に与えており、餌が市街地のどこから取ってきたのかを調べると、我孫子が繁殖地に選ばれる地域性も浮かび上がりました。1 年目と 2 年目の違い、特に 2 年目はムカデが最も多いことなど、大変興味深いお話しでした。

また、イソヒヨドリが営巣した民家の住民や市民から理解を得られたのは、まさに“鳥

の町”我孫子市ならではで、2 年間の調査に際しての我孫子市の地域住民との触れ合いや活動など、岩本さんの人となりを感じられる発表でもありました。

1 時間 30 分の発表はその時間を感じさせず、質疑でも手を上げる方が続き、ユニークな指摘も登場するなど、大変楽しく充実したサロンとなりました。

発表された岩本さんに感謝申し上げます（参加者）古出洋子、関口英治、間野吉幸、船津登、西城猛、徳重玲子、相良直己、相馬唐代子、坂元貴子、野口隆也、木村稔、野倉元雄、斉藤恵美子、野口紀子、小林寿美子、野尻清敬、松田幸保、千葉洋、小林美智子、岩本二郎（発表）、桑森亮（報告）計 21 名

### **3 月役員会報告**

日 時 3 月 10 日(日) 13:15～17:00

場 所 水の館 3F 研修室

出席者数 22 名

議 事

1. 2019 年度定期総会について  
2019 年度定期総会資料について、事務局及び会計担当が資料に基づき提案し、検討の結果、最終案を決定しました。  
総会資料は次の通りです。
  - ・2019 年度定期総会次第（案）
  - ・2018 年度事業報告（案）、決算報告（案）
  - ・2019 年度事業計画（案）、予算（案）
  - ・2019 年度会長・副会長候補（案）、会計監査候補（案）
2. 会報 268 号掲載予定記事  
会報 268 号の掲載記事について検討し、執筆担当等を決定しました。
3. バードウィーク手賀沼探鳥会の準備  
事務局の提案を検討し、了承されました。
4. 報告事項  
次の事項が報告されました。
  - (1) 柏市民フェスタ 2019 への対応状況
  - (2) 第 31 回野鳥サロン実施結果
  - (3) 対外対応状況
  - (4) 事務局報告事項

以上

## 鳥 だ よ り

この冬は「冬鳥の数が少ない」といった会員の感想もあるようです。皆様においてはいかがでしょうか。

ミヤマガラスが大陸方面から日本へ渡って来ました。手賀沼流域へそこそこまとまった数の冬季飛来が定着してきたのかもしれませんが。

ホオジロ類、ツグミ類は平年と比べて報告件数が少ないようです。

手賀沼沿岸の、印西市、我孫子市、柏市の境界などが、いろいろな猛禽類と遭遇できる貴重なフィールドとなっています。手賀の丘公園近くの林の上を、ノスリ、オオタカ、ハイタカが飛んで来て3羽が輪を描きながら飛んでいたと報告がありました。

ムナグロは、冬季には東南アジアやオーストラリア、インド、アフリカ東部などへの渡りをおこない越冬するのですが、手賀沼周辺でこの時期に観察出来るのは珍しいことです。

オオハクチョウやコハクチョウはよく見られました。コブハクチョウが営巣を始めています。いよいよ春の到来ですね。

(弘實和昭)

- |                          |           |
|--------------------------|-----------|
| 1.21【片山（手賀の丘公園）】キイタギ(1)  | 鈴木静治      |
| 杉の木の中で動く                 | 船津登       |
| 1.21【片山（手賀の丘公園）】トラツグミ(1) |           |
| 地上で採食                    | 船津登       |
| 1.22【岩井新田(手賀沼)】ツルギ(1)    |           |
| ハス田で採食                   | 船津登       |
| 1.22【片山新田(手賀沼)】チュウビ(1)   |           |
| 葦原の上を飛ぶ                  | 船津登       |
| 1.23【泉】ベニマシコ(1)          |           |
| 森の茂みより鳴き声                | 鈴木静治      |
| 1.23【中沼田】ミヤマガラス(約 250)   |           |
| 田で群れ餌探し                  | 鈴木静治      |
| 1.23【岡発戸】ウグイス(1)         |           |
| 笹鳴き                      | 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 1.23【岡発戸】シロ(1)           |           |
| 水面の杭に止まり休んでいた            | 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 1.23【片山新田(手賀沼)】オオカ(1)    |           |
| 田におりる                    | 船津登       |
| 1.23【下沼田】チョウゲンボウ(2)      |           |
| 水田地帯を飛翔                  | 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 1.23【下沼田】ノスリ(1)          |           |
| 田の杭に止まる                  | 鈴木静治      |
| 1.23【染井入新田】オシロイ(7)       |           |
| 葦に止まり餌探し                 | 鈴木静治      |
| 1.23【染井入新田】モズ(1)         |           |
| 沼岸の葦原で高鳴き                | 鈴木静治      |
| 1.23【中沼田】トビ(1)           |           |
| 電柱にミヤマガラス 2羽と仲良く止まる      |           |
| 1.24【大井新田地先上沼】ハジカイツブリ(1) |           |
| 波に揺られていた                 | 吉田隆行      |
| 1.25【大堀川河口】クササギ(1)       |           |
| ナガエツルノゲイトウの上で            | 吉田隆行      |
| 1.28【片山（手賀の丘公園）】キイタギ(1)  |           |
| 木の中で動く                   | 船津登       |
| 1.30【江蔵地】カシラガ(約 20)      |           |
| 木に止まる、道で餌獲り、飛ぶ           | 鈴木静治      |
| 1.30【江蔵地】ハブサ(1)          |           |
| 葦原で急降下し飛び立つ              | 鈴木静治      |
| 1.30【江蔵地】ツグミ(約 10)       |           |
| 大木に止まる                   | 鈴木静治      |
| 1.30【江蔵地】ムナグロ(9)         |           |
| 河川敷の芝生で餌獲り、ミミズを啜る        | 鈴木静治      |
| 2.01【布佐】トビ(1)            |           |
| 住宅上空を帆翔                  | 鈴木静治      |
| 2.02【つくしヶ丘 5丁目】ジョウビタビ(1) |           |
| メスが地面で採餌                 | 飯泉仁       |
| 2.02【布佐平和台】ヤマガラス(1)      |           |
| 住宅の大木で囀る                 | 鈴木静治      |
| 2.04【片山（手賀の丘公園）】ハイカ(1)   |           |
| 上空を飛ぶ                    | 船津登       |
| 2.04【片山（手賀の丘公園）】クササギ(1)  |           |
| 林の中を飛ぶ                   | 船津登       |
| 2.04【片山（手賀の丘公園）】トラツグミ(1) |           |
| 地上から飛び木に止る               | 船津登       |
| 2.05【手賀沼】コハクチョウ(2)       | 下沼 2      |

金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子  
 2.05【手賀沼】材ハクチョウ(2) 下沼 2  
 金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子  
 2.05【原山】ホトトリ(2)  
 池の岸の木陰で休む 鈴木静治  
 2.05【手賀沼】ヨシガモ(1) 下沼 1  
 金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子  
 2.05【手賀沼】バヅカイツブリ(4) 上沼 4  
 金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子  
 2.05【手賀沼】コホライザシ(4) 下沼 4  
 夏羽に移行中、飛翔  
 金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子  
 2.05【手賀沼辺】ノリ(2) 上沼 1,下沼 1  
 金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子  
 2.07【第2機場】ウグイス(1)  
 葦原で動き回りながら地鳴き 吉田隆行  
 2.07【岡発戸新田】オジギョウ(4)  
 葦の茎に止まる  
 鈴木静治・船津登・間野吉幸・古出洋子  
 ・千葉洋・坂元貴子  
 2.07【岡発戸新田】バン(1)  
 池の中を泳ぐ  
 鈴木静治・船津登・間野吉幸・古出洋子  
 ・千葉洋・坂元貴子  
 2.11【片山(手賀の丘公園)】材カ(1)  
 木に止る 船津登  
 2.11【片山(手賀の丘公園)】ヤマガラ(1)  
 船津登  
 2.11【片山(手賀の丘公園)】トラツグミ(1)  
 地上で採食 船津登  
 2.12【大井新田地先上沼】ミサゴ(1)  
 魚を取り、飛び去った 吉田隆行  
 2.12【大井新田地先上沼】アリス(1)  
 葦原の木の枝を動きながら採餌 吉田隆行  
 2.12【北柏・大堀川】ウグイス(1)  
 北柏の大堀川で「ホーホケキョ」が聞こえた  
 千葉洋  
 2.13【高野山】ハイカ(1)  
 ガラス窓に衝突 平岡考  
 2.15【北新田】クサギ(1)  
 水路 佐藤さなえ・松田幸保他 8名  
 2.15【小林】ヨシガモ(13)  
 池中を泳ぐ 鈴木静治  
 2.15【別所】オハクチョウ(2)  
 飛んで来て池に着水成鳥 1 幼鳥 1  
 鈴木静治  
 2.15【別所】ホトトリ(5)

池の中を泳ぐ 鈴木静治  
 2.15【別所】ヒバリ(2)  
 草原上空で轉る 鈴木静治  
 2.15【北新田】チョウゲンボウ(1)  
 飛翔 佐藤さなえ・松田幸保他 8名  
 2.16【下沼田】コホライザシ(1)  
 電線に止まっていた 飯泉仁・飯泉久美子  
 2.16【下沼田】ノリ(1)  
 電線に止まっていた 飯泉仁・飯泉久美子  
 2.16【ヒドリ橋】バヅカイツブリ(1)  
 大津川で潜りながら採餌 吉田隆行  
 2.16【我孫子新田】ジョウビト(1)  
 陽を浴びて全身息を呑むような色鮮やかな  
 美しい輝かしいオス。採餌なわばり内の哨戒  
 といった感じか。 田中功  
 2.16【箕輪新田】コハクチョウ(2)  
 水面で休んでいた 飯泉仁・飯泉久美子  
 2.18【片山(手賀の丘公園)】ヤマガラ(5)  
 船津登  
 2.18【片山(手賀の丘公園)】ルビト(2)  
 小枝に止まる 船津登  
 2.19【浅間前】ノリ(1)  
 道路脇の電線に止まる 鈴木静治  
 2.20【片山(手賀の丘公園)】ウ(2)  
 桜の花芽をついばむオス。初認。 船津登  
 2.22【江蔵地】ベニマシコ(1)  
 川原の林で鳴く 鈴木静治  
 2.22【江蔵地】トビ(1)  
 川の上空で鳴く 鈴木静治  
 2.22【片山(手賀の丘公園)】材カ(1)  
 林の中でキョキョと鳴く 船津登  
 2.22【片山(手賀の丘公園)】トラツグミ(1)  
 地上で採食 船津登  
 2.22【古戸】イツギ(1)  
 小川の浅瀬で餌探し 鈴木静治  
 2.23【岡発戸】カシラガ(約 15)  
 田から飛び木に止まる 船津登  
 2.25【片山(手賀の丘公園)】ヤマガラ(1)  
 船津登  
 2.25【片山(手賀の丘公園)】ジョウビト(1)  
 小枝に止まる 船津登  
 2.25【片山(手賀の丘公園)】ウ(2)  
 桜の花芽をついばむ 船津登  
 2.25【戸張新田地先上沼】バヅカイツブリ(1)  
 沼中央で休息の様子 吉田隆行  
 2.26【千間橋】コハクチョウ(2)  
 川の中の中州の巣で 1 羽抱卵、他の 1 羽は

泳ぎ警戒、営巣初認 鈴木静治  
 2.26【千間橋】タゲリ(26)  
 耕運機で耕している中、餌探し 鈴木静治  
 2.27【北新田】ベニマシコ(1) 畠中暁美  
 2.27【光ヶ丘廣池学園】アトリ(7)  
 ケヤキの木に飛来しその後地面に降りて採食 飯泉仁  
 3.01【手賀沼遊歩道・滝下】バン(3)  
 遊歩道滝下辺りを散歩中に 小山雄司  
 3.01【千間橋】オジユリ(2)  
 川原の葦の茎に止まる 鈴木静治  
 3.05【北柏ナシゲヶステーション】イビト(1)  
 建物の屋根や畑のフェンスに止まる 吉田隆行  
 3.05【手賀沼】ミコ(2) 上沼 1 下沼 1  
 金子雅幸・船津登・桑森亮  
 3.07【布佐平和台】フクロ(1)  
 低い大きな声で十数回鳴く 鈴木静治  
 3.10【岡発戸新田】ヒキ(1)  
 葦原の中でキョキョココと鳴く 鈴木静治  
 3.11【片山(手賀の丘公園)】ヤマガラ(3) 船津登  
 3.12【第2機場】アカハラ(1)  
 木から木へ移動を繰り返す 吉田隆行  
 3.14【岡発戸新田】ツバメ(1)  
 葦原、田の上を滑空する 初認  
 鈴木静治・間野吉幸・古出洋子  
 3.15【北柏ふるさと公園】ジョウビタキ(1)  
 庭石と樹木間で採餌の様子 吉田隆行  
 3.15【北新田】コトドリ(1)  
 田んぼで 佐藤さなえ・松田幸保他 9名  
 3.15【北新田】ノスリ(1)  
 電柱の上 佐藤さなえ・松田幸保他 9名  
 3.15【小林】ヨシガモ(1)  
 池の中に浮かび休む 鈴木静治  
 3.15【千間橋】オジユリ(約 10)  
 川岸の葦の間を動く 鈴木静治  
 3.15【北新田】ヒバリ(4+)  
 飛翔、田んぼで 佐藤さなえ・松田幸保他 9名  
 3.15【北新田】チョウゲンボウ(2)  
 飛翔 佐藤さなえ・松田幸保他 9名  
 3.16【箕輪新田先手賀沼】オカ(1)  
 獲物を足にぶら下げて林の中に入る 飯泉仁・飯泉久美子  
 3.16【箕輪新田先手賀沼】コハクチョウ(2)

水面を移動 飯泉仁・飯泉久美子  
 3.17【第2機場】チュウビ(1)  
 葦原上空を旋回しながら上昇。 吉田隆行  
 3.18【片山(手賀の丘公園)】トビ(1)  
 上空を飛ぶ 船津登  
 3.18【片山新田】オカ(2)  
 葦に止まる 船津登  
 3.19【大井新田(手賀沼)】カワラガ(2)  
 木に止まる 船津登  
 3.19【第2機場】アリス(1)  
 葦原の木から木へ移動をする 吉田隆行  
 3.19【東中新宿】ツミ(2)  
 雌雄が自宅上空で鳴きながら  
 ディスプレーフライト 飯泉久美子  
 3.20【本町】ツバメ(1)  
 巣場所に戻る 平岡考  
 3.20【江蔵地】ミコ(1)  
 川の上空を飛ぶ 鈴木静治

■今回寄せられた鳥の全種名■

アオサギ、アオジ、アカハラ、アトリ、アリスイ、イソシギ、イソヒヨドリ、ウグイス、ウソ、エナガ、オオジュリン、オオタカ、オオハクチョウ、オオバン、オカヨシガモ、オシドリ、オナガガモ、カイツブリ、カシラダカ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キクイタダキ、キジ、キジバト、キンクロハジロ、クイナ、クサシギ、クロハラアジサシ、ゴイサギ、コガモ、コゲラ、コサギ、コチドリ、コチョウゲンボウ、コハクチョウ、コブハクチョウ、シジュウカラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズメ、セグロカモメ、セグロセキレイ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、タヒバリ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ツグミ、ツバメ、ツミ、ツルシギ、トビ、トラツグミ、ノスリ、ハイタカ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハジロカイツブリ、ハヤブサ、バン、ヒクイナ、ヒドリガモ、ヒバリ、ヒヨドリ、ビンズイ、フクロウ、ベニマシコ、ホオアカ、ホオジロ、ホシハジロ、マガモ、ミコアイサ、ミサゴ、ミヤマガラス、ムクドリ、ムナグロ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリカモメ、ヨシガモ、ルリビタキ  
 計 89種  
 <番外種>カワラバト、コジュケイ

■ 今回の投稿者の総投稿件数 ■

飯泉久美子	1
飯泉仁	171
飯泉仁・飯泉久美子	225
金子雅幸・船津登・桑森亮	32
金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子	58
古出洋子	1
小山雄司	2
佐藤さなえ・松田幸保他 8 名	24
佐藤さなえ・松田幸保他 9 名	25
鈴木静治	299
鈴木 静治・間野吉幸・古出洋子	26
鈴木静治・船津登・間野吉幸	

・古出洋子・千葉洋・坂元貴子	28
鈴木静治・間野吉幸・船津登	
・野口隆也・相良直己・坂元貴子	
・松本勝英・桑森亮	8
田中功	1
千葉洋	1
畠中暁美	5
平岡考	2
船津登	166
吉田隆行	19
総計	1,094

(弘實和昭)

【会員だより】 (ab-yacho より)

【ケリとタゲリ】

2019.1.26 新堀正則

菅生沼・利根運河探鳥会当日では観察出来ず残念でした。落合さま、相良さま、野尻さまのご助言もあり 3 度目の挑戦で本日タゲリ、ケリの探鳥に成功いたしました。落合さまからはタゲリとケリは棲み分けているようだ、聞いておりましたが、本日観察したところ仲良く一緒に居たので、面白いと思いましたので報告します。

【タカの狩り雑感】

2019.2.18 松田幸保

昨日のNHKテレビ「さわやか自然百景」で、オオタカがコサギを狩ったあと飛び上がれずにバタフライ泳ぎで岸にたどり着いた映像を見て、約 40 年前に手賀沼にオオワシの若鳥が来た時の光景を思い出しました。

連れて行った家人が“ワシが泳いでるよ”と言うので、そんな馬鹿など見たところ、昨日の映像と同様なバタフライ泳ぎでした。斜めになった杭にたどり着いて、やっと上った足には巨大な鯉の姿が。鯉を離して終了となりました。

HPの「江戸崎・和田岬・甘田探鳥会」報告に、新堀さん撮影のオオタカの狩りの写真が載っていますが、これはオオタカが上空に来た段階でオナガガモが一斉に飛び立った後の光景です。この少し前にオナガガモが一斉に飛び立ったので、“なんだ？”と思ったらチョウゲンボウの出現でした。その時は“チョウゲンボウに驚くなよ！”と思いましたが、オオタカの出現で、小さくてもタカの姿に驚くのは正しい反応なのだなと感じました。

手賀沼でミサゴが見られるようになった最初の頃は、カモが驚いて飛び立っていましたが、最近は見かけなくなりました。これ油断？

【Re タカの狩り雑感】

2019.2.18 新堀正則

「江戸崎・和田岬・甘田探鳥会」ではお世話になりました。後で自分で撮った写真を見て、気がついたのですが、狙われていたオナガガモの群れ以外は冷静にしているのが、少

し意外でした。猛禽の姿を目の当たりにしたら全部逃げるのかと思ったのですが、そうでもないようです。昔の話ですが、イヌワシの狩を目の前で見た時は、自分が襲われるような、物凄い威圧感でした。隠れていたウサギが堪えられず飛び出したように思えました。私も鳥肌が立ち冷や汗と震えが来ました。

オナガガモも肝を冷やしたでしょうね。オオタカは獲物が捕れなくて気の毒でしたが。また、面白い話をお聞かせください。ありがとうございました。

### 【Re タカの狩り雑感】

2019.2.18 船津登

松田さんのタカの狩りの反応ですが、昨年のJBF湖畔BWで湖上を見ていると、チュウヒが対岸のハス田の上空を飛んだ時、ハス田から一斉にカモ類が飛び立つのが見られました。しかし、チュウヒが葦原の上を飛ぶのを何回か見っていますが、カモ類が飛び立つ姿は、見ていません。葦原の中にカモ類がいたとしても、襲われないと思っていると考えられます。

また、ミサゴが沼の上を飛んでいる時に、カモ類が飛び上がる姿は見ていません。

カモ類は、ミサゴがカモ類を襲わないと学習をしているものと思われます。

私見ですが……。

### 【Re タカの狩り雑感】

2019.2.18 渡邊俊文

先日、チュウヒが葦原の上をホバリングしていたらマガモが数羽飛立ちました。

私も、チュウヒが飛んでもカモ類が驚いて飛び立つのは見てませんでしたが初体験でした。マガモは別の何かに驚いたのでしょうか？

### 【Re タカの狩り雑感】

2019.2.19 村井みとい

皆様のようにタカとカモの事ではないのですが、鳥を観ていて種ごと、個体ごとに個性があって面白いと思うことがよくあります。

トラクターの後をサギ類等が付いて歩くのはごくありふれた光景だと思いますが、アマサギやタゲリなどは、音を聞きつけてまず一羽がやってきてそのあと続々とやってきます。

セキレイ類も同じように思います。アオサギやダイサギは個々にやってくる人が多いでしょうか？ とはいえ、餌が無い（例えばここ最近のまだ寒くて乾燥しているところの作業など）と、誰も来ません。（毎日やってくるアオサギが一羽いますが）本当によくわかっているなあと驚くばかりです。

また、カシラダカはトラクター等で近づくと一気に大群で木の上など遠くに逃げていくのに、アオジは、近めの藪の中に隠れるくらいの移動が多いように思います……。

### 【さえずり】

2019.2.25 古出洋子

暖かい日々が続いています。

24日の群馬県嶺公園での探鳥時に、ウグイスの初音を聞いたと言っていました（私は耳が悪いのか聞き損ねましたが）今日自宅の庭で、シジュウカラのさえずりを聞きました。まだ滑らかではありませんでした。

### 【ウグイスの初音】

2019.2.27 畠中暁美

本日、自転車以北新田に行ってみました。越流堤そばで今年初めてウグイスの初音を聴きました。まだ下手でホーホケチでしたが……。10:30頃でした。

帰ってから調べると2016年3月2日、2017年2月25日、2018年2月27日、2019年2月27日、北新田では毎年ほぼ同じことが分かります。カレンダーもなしに！

それから今日はベニマシコにも出会えました。空は曇天でしたが 心は青空に！  
コガモもまだ残っているし、ツグミも沢山。  
それから雲雀の囀りが空を占拠しているかのようでした。

### 【Re ウグイスの初音】

2019.2.27 千葉洋

ウグイスの初音の便りが続いているので、わたしの記録を確認したところ、ほぼ毎日歩いている北柏の大堀川では、今年 2 月 12 日に、遊歩道沿いの民家の生垣のなかから、遠慮がちな「ホーホケキョ」が聞こえてきました。顔見知りのバーダーの方の話では、同じ場所ですその前日（11 日）にも聞いているとのことでした。

## 会からのお知らせ

### <役員改選>

4 月 14 日開催された 2019 年度年次総会において役員改選が行われ、間野会長、古出副会長が勇退され、新たに船津登会長、相良直己・坂元貴子両副会長が選任され、間野前会長は顧問としてバックアップ頂ける新体制が発足しました。

なお、船津会長の就任挨拶、年次総会の要項は次号掲載の予定です。

### <新入会員紹介>

田中義和（平成 31 年 4 月入会）（市原市在住）  
富田めぐみ（平成 31 年 4 月入会）（市川市在住）  
新沢政之（平成 31 年 4 月入会）（我孫子市在住）

### <ご寄付>

山野辺伸作さん、天野正臣さんよりご寄付を頂きました。  
厚くお礼申し上げます。

ほーほーどり No. 268 （2019 年 5～6 月号）

発行 2019 年（令和元年）5 月 1 日

発行人 船津登

編集人 青木典子、古出洋子、千葉洋、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270 - 1143 我孫子市天王台 2-15-17 桑森亮 Tel : 04-7182-3149

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円（大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料）